



北海道大学高大連携授業聴講型公開講座

高校生による全学教育科目の授業聴講は、平成16～20年度の試行を経て、平成21年度から、正規のプログラムとして実施されています。試行を含め、これまでに札幌市内・近郊の7つの高等学校および中等教育学校(札幌旭丘、札幌北、札幌開成、札幌南、札幌西、藤女子、立命館慶祥)から計922人に、有意義に受講していただいています。北海道大学は受講した科目の単位認定を行いませんが、単位として認定している学校もあります。詳細については、「実施要項」および各学校との「協定書」をご確認ください。



[交通案内]
JRご利用の場合
札幌駅下車、徒歩7分で「正門」到着
地下鉄南北線・東豊線ご利用の場合
さっぽろ駅下車、徒歩10分で「正門」到着
地下鉄南北線で利用の場合
北12条駅下車、徒歩4分で「北13条門」到着
北18条駅下車、徒歩7分で「北18条門」到着

○学部と同じ建物の大学館は名称を省略している
◇()は他機関の建物を示す



〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学高等教育推進機構
【担当】飯田直弘、岩間徳兼
【連絡先】TEL:011-706-6069
FAX:011-706-7538
E-mail:koudai@high.hokudai.ac.jp

HOKKAIDO UNIVERSITY

高校生が、北大生といっしょに授業を受講できます。

2023年度 北海道大学 高大連携授業聴講型公開講座

高校生の全学教育科目の受講について

高校生の皆さん

北海道大学は、第2学期に開講される全学教育科目の一部を高校生(中等教育学校後期課程の生徒を含む)に受講していただく機会を設けています。全学教育科目は、北海道大学の学生が入学後の1年次を中心に履修する科目で、専攻する分野にかかわらず本学の卒業生であれば当然身につけておかなければならない素養を学ぶカリキュラムです。総合大学の特質をいかした多様な科目が開講されています。

本学の学生といっしょに授業を受けながら、大学の授業の実際の様子を知り、学問のおもしろさを発見したり、自分の興味や関心を深める発展的な学習に取り組んだりすることができます。ぜひ、将来の進路を考えるために、この制度を活用してください。

開講期間：2023年10月2日
▶2024年2月5日



クラーク像

2023年5月 北海道大学高等教育推進機構

高大連携 授業聴講型公開講座 概要と科目選択の手引き



受講までの流れ

- 1 説明会と募集** (各学校)
受講を希望する生徒は、受講対象科目一覧の中から講義題目を複数選び、受講希望調査票に記入し、指定された日までに担当の先生に提出する。
- 2 オリエンテーション**
日程：各学校と相談の上、9月後半に実施
時間：図書館ツアーを含み約90分
場所：北海道大学高等教育推進機構
- 3 受講開始日：10月2日(月)以降**

本講座は、北大と皆さんが在籍する学校が連携し(北大と各学校が締結した協定書に基づき)、実施されます。**受講は無料**で、基準を満たした受講生には学年末に**受講証明書**が発行されます。

- 説明会と募集は、在籍する学校で実施されます。各学校の担当の先生の指示とガイダンスに従ってください。
- 学校ごとに指定された曜日の5講時に開講される、全学教育科目の授業を北海道大学の学生といっしょに週1回受講します。
- 受講期間中は、北海道大学附属図書館を利用することができます。

1 受講期間、日時、場所

期間：2023年10月2日(月)～2024年2月5日(月)
日時：学校ごとに指定された曜日の5講時(16時30分～18時)
場所：原則として北海道大学高等教育推進機構(裏面の地図を参照)



総合博物館

2 受講可能な科目の種類

全学教育科目のうち、高校生が受講できるのは、総合科目、主題別科目、一般教育演習(フレッシュマンセミナー)に限定されています。各科目群の特徴については、次ページを参照してください。

3 講義題目の選択について (各学校でとりまとめます)

- 別紙の受講対象科目一覧の中から、皆さんの興味・関心に沿って科目と講義題目を選んでください。
- 科目ごとの受け入れ人数を超える希望があった場合など、事情により高校生の受け入れが認められないことがありますので、なるべく複数の講義題目を選んでください。**
- 授業内容については、シラバス(授業概要)を参照してください。シラバスへは本学のホームページからアクセスしてください(挟み込み頁参照)。

北海道大学ホームページ
<https://www.hokudai.ac.jp/>

- 「科目区分」、「論文指導」の説明は次ページを参照してください。

4 受け入れ人数について

- 総合科目は5名程度、主題別科目は3名程度、一般教育演習は1～2名の受け入れが可能です。
- 一般教育演習は定員を4名以上23名以下に限定しているため、北大生の履修登録状況によっては受講できない場合があります。なお、受講生が3名以下の場合は開講取り消しとなります。

5 受講科目の確定について

受講科目については、おおむねオリエンテーションまでに確定します。受講科目確定後、各学校の担当の先生の指示に従って、必要書類を提出してください。

6 受講について

- シラバス(授業概要)をよく読んでください。
- 北大生になったつもりで授業を受けてください。
●授業内で課されるミニレポートなどの課題は必ず提出してください。
●学期末レポート、学期末試験、グループワークなどについては、授業担当教員の方針に従ってください。
- 10月末～11月初旬に受講状況について確認します。
やむを得ない理由により受講継続が困難な場合は受講を取り消すことができます。
- 受講期間中、高校生の来学時間にあわせて出欠確認や助言のためにTA(大学院生)が配置されます。

7 提出書類

1 受講希望調査票	
2 受講登録書 ・顔写真1枚(縦40mm×横30mm)、裏に氏名を書いて貼付する	指定された日までに学校の担当者に提出する

※提出書類は必ず期限までに提出してください。提出が遅れた場合、受講ができないことがあります。



附属図書館本館



ポプラ並木

北海道大学の 全学教育科目

受講科目について
高校生は、3つの科目群(総合科目、主題別科目、一般教育演習(フレッシュマンセミナー))の中から受講科目を選びます。

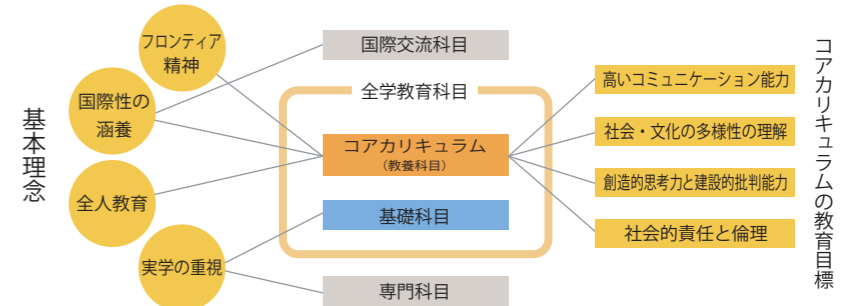
全学教育科目とは？

北海道大学は、1876年創立の札幌農学校の伝統を受け継ぎ、教育・研究の基本理念として「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」を掲げています。全学教育の各科目もその理念を実現するために設定されています。

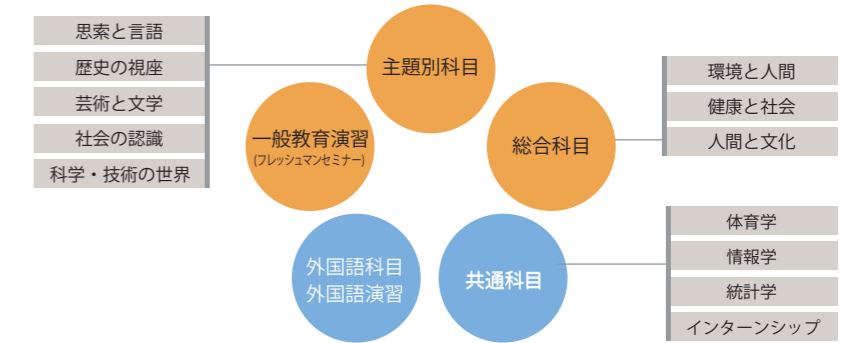
北海道大学の学生は、入学後の1年次を中心に、大学が全体で企画し実施する「全学教育」を受けることになっています。高等教育推進機構の建物には、そのためのさまざまな教育施設が用意されています。全学教育は、4年ないし6年の学部教育で重要な位置を占めている教養教育と基礎教育の2つのカリキュラムからなります。そのうち教養教育は、大学教育における必須の共通科目からなるという意味で「コモンコア」のカリキュラム、すなわち「コアカリキュラム」と呼ばれています。

高大連携授業聴講型公開講座では、このコアカリキュラムのうち、以下の3つの科目群の中から受講科目を選択していただくことになります。

北海道大学の基本理念と教養教育の目標



コアカリキュラムの構造



【総合科目】

複数の分野を融合する科目で、生き生きとした学問研究の現状や特定の学問分野からのアプローチでは解決できない問題を取り上げ、複数の学問分野の教員が講義を担当します。毎回講義担当者が異なる授業もあります。3つの科目群から構成されています。
●環境と人間 ●健康と社会 ●人間と文化

【主題別科目】

単一の学問分野を基礎とする5つの科目群から構成されており、各教員が専門分野を「純粋な教養」として、一般学生向きに展開する科目です。一人または複数の教員が半年間講義を行います。
●思索と言語 ●歴史の視座 ●芸術と文学 ●社会の認識 ●科学・技術の世界

【論文指導】 レポートの作成を通じて積極的な学習態度の育成を目指すものです。「論文指導」は、「一般教育演習(フレッシュマンセミナー)」「主題別科目」の講義の一部として行われます。

【一般教育演習(フレッシュマンセミナー)】

1年次の学生を対象とした少人数クラスの演習です。学生との意見交換、討論などの双方向的な授業によって、問題解決能力を育成します。自ら主体的に学ぶという大学にふさわしい学習態度への転換を図ります。1クラスの受講生を少人数に限定したゼミナール形式で行います。

受講した高校生の声

大学という場所の雰囲気、講義と高校の授業との違い、自分の興味あることについての深い知識を多く得ました。決して楽なスケジュールではありませんでしたが、充実し、毎週意欲たっぷりに参加できました。

脳科学というのは、簡単にとらえることができず、深い学問なのだということを知ることができ、今の自分にはレベルが高いと感じましたが、もっと学んでみたいと思うようになりました。

高校では経営について考える機会がなかなか無いので、今まで興味を持っていた事に一步踏み出すことができた。新聞を読む習慣が身についたことが良かった。パワーポイントを用いて、15分という長い持ち時間のプレゼンは初めてだったが、やり終えて自信になった。

今回の授業で得たものは、大学の楽しさ、面白さです。いくつか自分の進路に関係のあるもので、自分の興味を深めてくれたり、さらなる面白さを見出しつつ、自分が将来本当に学びたいことに特化し学べる大学の楽しさを少しでも知ることができました。将来役に立つような経験ができました。

こんなにもおもしろく、独自性にあふれた講義をしてくれる大学が身近にあることがとてもうれしい。北大に入ったらまた、次は大学生として「ヒグマ学」という学問について思考を深め、自らも「考え」を燃やしたいという意欲を得ました。

今回の受講で、大学のイメージ像がほぼ出来上がった気がします。オープンキャンパスも見に来たのですが、それより遙かに自然に近い大学の姿を見ることができ、図書館や食堂も利用できたため、大学生気分を十分に味わいました。大学生の先輩方と同じ空間で受講するという貴重な時間を過ごせて本当にうれしく思っています。